

平成 25 年 3 月 4 日

厚生労働省 医政局 医事課  
試験免許室長 岡田 安正 様

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会 長 中 村



### 第48回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、2月24日に実施されました第48回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい4つの問題（午前1問題、午後3問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

### 記

- I 複数の解が選択できると思われる2問題（午後5、66）について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる2問題（午前78 午後36）について、採点から除外することが望ましいと考える（別添資料参照）。
- II その他の意見  
消去法や優先順位等から解は選べるものの該当すると言い切れない1問題（午後30）があると考えます。

午後 問題

問題番号 ( 5 )

- 5 86歳の女性。脳梗塞による左片麻痺、発症後1年半が経過した。ADLは介助すればおかゆなどの調理食を食べる以外は全介助、ドーナツ型の枕を使用してベッド上で臥床している。全身の筋萎縮、筋短縮と関節拘縮を著明に認める。退院時に介護保険を利用してベッドやマットを準備したが、体圧分散マットのような特殊マットは利用していない。作業療法士が自宅訪問したときのベッド上での肢位(別冊No. 3)を別に示す。褥瘡予防と姿勢保持のために背臥位でポジショニングを行う。クッションを置く部位で正しいのはどれか。

1. 後頸部
2. 肩甲骨背面
3. 腰背部
4. 右大転子部
5. 両大腿内側

別冊No. 3

No. 3 (O 問題5)



解：2、3、5 (複数の解が選択できる)

理由

文献1より、褥瘡予防の観点から選択肢「3」を選択することができる。

文献2と3より、姿勢保持の観点から選択肢「2」と「5」を選択することができる。

したがって、選択肢「2」、「3」、「5」の複数の解を選択できる。

参考とする文献

1. 田中マキ子：動画でわかる褥瘡予防のためのポジショニング。株式会社トライ。p78, 2010.
2. 岩崎テル子編：標準作業療法学身体障害作業療法学第2版。医学書院。p171, 2011.
3. 加倉井周一：新編 装具治療マニュアル—疾患別・症状別適応—。医歯薬出版株式会社。p54, 2000.

午後 問題	問題番号 ( 66 )
<p>66 血液について正しいのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 血小板は脾臓で作られる。</li><li>2. 赤血球はpH調節に関与する。</li><li>3. 白血球で最も多いのは好中球である。</li><li>4. エリスロポエチンは赤血球の破壊を促す。</li><li>5. 血漿成分にフェブリノゲンは含まれない。</li></ol> <p>解：2、3（複数の解が選択できる）</p>	
<p>理由</p> <p>文献1には、赤血球の働きとして酸素、炭酸ガスの運搬、pH調節の記載がある。 さらに文献2、3、4には、赤血球の成分に含まれるヘモグロビンには、体液pHの緩衝作用があり、pHの保持に関与しているため、選択肢「2」は正解である。</p> <p>文献5には、白血球で最も多いのは好中球との記載があるため、選択肢「3」も正解となる。</p> <p>したがって、選択肢「2」と「3」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 小幡邦彦、外山敬介、高田明和、熊田衛、小西真人：新生理学 第2版. 文光堂, p281, 2003.</li><li>2. 杉晴夫編著：人体機能生理学 改訂第5版. 南江堂, p301, 2009.</li><li>3. 貴邑富久子、根来英雄：シンプル生理学 (改訂6版). 南江堂, p228, 2010.</li><li>4. 奈良勲、富永淳：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野生理学. 医学書院, p20-21, 2007.</li><li>5. 大成浄志：標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第2版. 医学書院, p199, 2007.</li></ol>	

午前 問題	問題番号 ( 78 )
<p>78 くる病の症状でないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 低身長</li><li>2. 漏斗胸</li><li>3. 骨 痛</li><li>4. 円 背</li><li>5. O 脚</li></ol> <p>解：なし</p>	
<p>理由</p> <p>文献1と2より、症状として低身長とO脚を呈する。</p> <p>文献3と4より、症状として漏斗胸を呈する。</p> <p>文献5より、症状として骨痛を呈する。</p> <p>文献3には、脊柱変形(後弯、前弯)を呈する。 また、文献6には、重症例では円背を呈すると記載されている。</p> <p>したがって、いずれの選択肢もくる病の症状となるため、解なしと考える。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 高橋邦泰 他編：整形外科学テキスト 改訂第3版. 南江堂, pp256-257, 2011.</li><li>2. ニノ宮節夫 他編：今日の整形外科治療指針. 医学書院, p277, 2004</li><li>3. 大谷清：リハビリテーション整形外科学. 医学書院, p115, 1997.</li><li>4. 三浪明男 他編：講義録 整形外科学. メジカルビュー社, p337, 2006.</li><li>5. 小林登 他編：新小児医学大系 第15巻B《小児運動器病学Ⅱ》. 中山書店, pp332-333, 1986.</li><li>6. 立野勝彦：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第3版. 医学書院, p96, 2010.</li></ol>	

午後 問題	問題番号 ( 36 )
<p>36 手背部と前腕部の熱傷における急性期の安静肢位として正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. DIP 関節伸展位</li><li>2. PIP 関節屈曲位</li><li>3. MP 関節伸展位</li><li>4. 手関節屈曲位</li><li>5. 前腕回外位</li></ol> <p>解：1</p>	
<p>理由</p> <p>文献1、2より、手背部熱傷の急性期のスプリング肢位としては、前腕回内位、MP関節屈曲40° から60° 屈曲位、PIP・DIP関節伸展位、手関節15° 背屈位となっており、選択肢「1」以外は誤りとなる。</p> <p>したがって、2つ選ぶことができない。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 岩崎テル子 編集：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第2版. 医学書院, p300, 2011.</li><li>2. 長崎重信 監修・編集：作業療法 ゴールドマスターテキスト4 身体障害作業療法学. メジカルビュー社, p293, 2010.</li></ol>	